

代表質問 — 県政推進の具体像を描く！

福岡県議会議員
【古賀市】

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

～第21号～
2014年12月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■県議会が古賀を視察

本会議での登壇連続15回目 財政改革、空港ビジョン、35人学級：

福岡県議会12月定例会（12月1日～18日）が開かれ、私は所属会派を代表し、小川洋知事らに様々な県政課題を提起しました。就任以来、私の本会議における質問は連続15回目。再質問、再々質問と知事に問題提起を繰り返す中で、県政の前進につながる前向きな答弁も得られました。

県政推進の基本姿勢として、まず私から今年度の税収見通しを質し、知事は法人二税、地方消費税、個人県民税の実績額の比較（4～10月）を示しながら、「県税収入全体を見ると、前年度決算額と比較した当初予算の伸長率103%を上回る103.5%であることから、当初予算は確保できる」との見通しを示しました。

さらに、知事として福岡空港の民間委託に同意する意向を表明したことを受け、私から、地元が意見として示した条件について国が責任ある対応をとるための「実効性を担保するべき」と指摘。知事は「当然、意見は尊重されるべきもの」「条件が実施方針に反映されるよう、県として地域の立場から国としっかり協議、調整していく」と答弁しました。

また、財務省が公立小学校1年生で定着している「35人以下学級」を40人以下に戻す方針を示したことについて、私から「論外」と指摘。教育長も「35人以下学級は教育効果があり、堅持する」との姿勢を明確に示しました。このことについては翌日の西日本新聞にも報じています。

このほかにも▽原子力発電所の再稼働にあたっての福岡県としての立場▽産業廃棄物処分場の掘削調査のあり方▽男性の育児休業の取得促進——などで突っ込んだ議論ができました。既に公式HPやブログでも報告していますので、ご参照いただけると幸いです。

なお、質問当日は地元・古賀市からも多くの皆さんが傍聴に来てくださいました。心から感謝いたします。引き続き、県政が身近に感じられるように活動してまいります。



多岐にわたる県政課題について知事に質問・提案した＝12月5日午後

【代表質問の要旨】

- 一、 県政推進の基本姿勢について
 - 1 2014年度の税収見通しと財政改革推進プラン
 - 2 福岡・北九州両空港の一体的運営ビジョン
 - 3 原子力災害広域避難計画
 - 4 産業廃棄物行政の推進

- 一、 男女が共に働きやすい社会づくりについて
- 一、 教育問題について
 - 1 35人以下学級の維持・拡大
 - 2 小中学校の統廃合問題
- 一、 警察問題について
 - 1 性暴力被害者支援の拡充と性犯罪の抑止

▼福岡県議会のホームページはこちら
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



裏面へつづきます▼

田辺の政治活動を連日発信しています！

ブログ（政治活動日記）
公式ホームページ

facebook
Twitter

田辺かずき で 検索

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>
<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
アカウント→ @tanabe_kazuki

福岡県議会が古賀を視察 — 農業と地域振興!

新特産品の開発と「ヒーロー伝説」

福岡県のこれからの農業と地域振興を考えるため、県議会の所属会派として古賀市を視察しました。若手農業者の方々から「スイーツコーン」の特産品化と「ニューヒーロー」「ヨメニコーン改」を生み出した取り組みを聞き取り、地元農産物を使った新たな特産品開発を競う市の事業「K-1（古賀の一品）グランプリ」の特長や、果樹栽培農家の現状と課題も学びました。視察は10月17日。地元農業者の皆さんやJA粕屋、古賀市農林振興課をはじめご協力いただいた皆さんに深く感謝を申し上げます。

古賀市は都市近郊で農業が盛んです。視察のポイントのひとつが、2014年2月にJA全国青年大会で最優秀賞に輝いたJA粕屋青年部の取り組みを学ぶこと。農業振興の取り組みが地域づくりにつながっている先進的なケースを今後の農政に生かしたいと思ひ、私から提案、実現しま



古賀市内外から多くの人々が訪れたスイーツコーン祭 = 2014年6月29日



イベントや保育所などで子どもたちへの食育活動に動むヨメニコーン改

した。青年部は2年前から特産品化に挑み、糖度の高い「スイーツコーン」として売り出すことに成功。年1回開催のイベント「朝どり」がスイーツコーン祭は市内外から多くの人が訪れるまでに成長しています。私もイベント当日は夜明け前からの収穫や運営をお手伝いさせていただきま

した。この一環として生まれたのが「ニューヒーロー」「ヨメニコーン改」。古賀市内の保育所・幼稚園での食育や、農業関係者を対象とした婚活イベントも展開し、私も参加・協力してきました。新聞各紙

やテレビなどでも報道され、ヨメニコーン改による知事表敬も実現しています。

視察では果樹農家の方の生産現場へも。古賀市は温州ミカンをはじめ特産・山見阪ネーブルなどかんきつ類の栽培が盛んです。しかし、福岡県全体を見ても若年層を中心に果樹の消費が低落傾向にあるなどしているため、対策を講じていかなければならないとの問題意識があり、現地調査を行いました。

薦野区のハウス。果実のシラヌヒの中でも糖度13度以上など一定の基準を満たした高品質のものをいうデコポンは古賀市が県内トップクラスの生産を誇ります。特に品質向上を図っていくに当たり、害虫対策の現状と課題などを学ばせていただきました。また、JA粕屋北部プラザでは選果機の機能向上を図る必要性についてもご説明をいただきました。

それぞれの現場でご協力、ご対応いただいた皆さんに心から感謝いたします。福岡県の農政推進のためにしっかりと生かしていきます。



デコポンの栽培現場で現状と課題を聞き取り = 10月17日

田辺かずき プロフィール



1980年5月16日生まれ
1987年/暁の星幼稚園 卒園
1993年/花鶴小学校 卒業
在学中、第2回古賀町少年の船に参加
1996年/古賀中学校 卒業
1999年/福岡県立福岡高校 卒業
2003年/慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社/福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年/大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事(当時)、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
2011年/福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会(～13年)
国際交流推進対策調査特別委員会(～13年)

【現在の所属】
福岡県議会・新社会推進商工委員会、同・防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会、同・スポーツ議員連盟幹事、全国青年都道府県議会議員の会(福岡県世話人)、民主党青年委員会事務局次長、民主党・県政クラブ県議団など

【家族】 会社員の妻、7歳の長男、4歳の長女



◇もちつきで実感する地域の「絆」

本格的な冬の到来。12月に入ると、古賀市内のあちらこちらで、もちつきの風景が見られます。私もできる限り多くのもちつきに参加し、地元の皆さんと交流させていただいています。さまざまな世代が交流し、地域の絆を深める大切さを実感できます。年末年始、寒さが厳しくなりますが、皆様ご自愛ください。

田辺かずき事務所からの おしらせ

【対話集会を開催】

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があつてこそ。市内各地の公民館で対話集会を毎週開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などの地域の皆さんの集まりにも足を運び、県政報告と意見交換をさせていただいています。事務所(092-692-8510)まで。



【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書(1～2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただいています。県政活動の意義と詳細を記していますので、事務所(092-692-8510)までご連絡ください。